

年 組 () 名前

サイン

◆おにぎりは遠足や運動会の人気メニューです。今、おにぎりを専門に売るお店が増えています。見た目もきれいでおいしそうな「ごちそう」になっています。(2023年5月25日 読売新聞朝刊より)

「映え」おにぎり 出店増



行楽のお供に欠かせないおにぎり。今、専門店の出店が相次いでいる。見栄えのよい、多彩な「ごちそう」に進化しているという。
木箱に並ぶおにぎりの上には、趣向に富んだ具材が盛り込まれている。三つ葉を散らしたイクラのしょうゆ漬け、スタチと刻みガリを添えた焼きサバ、ローストビーフ。
東京・虎ノ門のおにぎり専門店「TARRO TOKYO ONIGIRI」(タロウトウキョウオニギリ)のおに

SNS、物価高など後押し

ぎりは、重量の15%が具と多めのため、上ごころもりとのせてある。昨年5月の開店以来、SNS映えする見た目もあって若い女性に人気だ。
価格は180〜430円とやや割高だが、多い日には1日1000個程度売れるという。社長の川原田美雪さん(27)は、「世界に通用する、おにぎりを生み出したい」と力を込める。来店した女性会社員(38)は「仕事の合間に少しずつまとめて、ちょうどいい」とほほえむ。

※先生やおうちの人と
いっしょに読みましょう。

▲ SNS映えするとして人気のおにぎり。のりは個包装で別添えだ(東京都港区の「タロウトウキョウオニギリ」で)



▶ 多彩なおかず、白いおにぎりも進む(東京都千代田区の「新潟にぎりめし べいべい」で)

【1】あなたは、どんなおにぎりが好きですか。

【2】あなたが食べたいと思うおにぎりの絵を、裏にかきましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆ ^{あわ}淡い^さピンクの花を^{やく}咲かせた、約
10万^{かぶ}株の古代ハス。ハスはどんな
植物でしょうか。

(2023年6月23日 読売新聞夕刊より)

【1】ハスについてくわしく調べ、わかったことを書きましょう。



埼玉県行田市の「古代蓮の里」で、約10万株の古代ハス（行田ハス）が淡いピンク色の花を咲かせている。写真、三浦邦彦撮影。見頃は7月中旬まで続くが、日が高くなると花が閉じてしまうため、管理する古代蓮会館は、午前7～9時頃の来場を呼びかけている。

古代ハスは約50年前、公共施設を建設する際に出土した1400～3000年前の種子が自然発芽した。同県羽生市から訪れた早川美子さん(80)は、「ハスの甘い香りが大好き。今年は花が多くて素晴らしい」とうれしそうに話していた。

【2】記事を読んで見出しを考え、写真の横の口に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



松井さんが組み立てた江戸扇子(東京都江戸川区で)

(2023年5月18日 読売新聞都民版より)

江戸扇子 光る伝統伎 江戸川

本格的な夏の訪れを前に、伝統工芸品「江戸扇子」の製作が江戸川区の工房で最盛期を迎えている。

区によると、江戸扇子は、江戸時代の元禄年間に京都から伝わったとされる。京扇子よりも扇の骨が半分程度、15本と少なく、町人文化が感じられるシンプルで粋な作りが特徴。都内に組み立てができる職人はほとんどおらず、区内では、50年以上作り続けている北篠崎の「江戸扇子工房まつ井」の松井宏さん(76)が伝統を守っている。例年約5000本の注文があり、うち半数が5、8月に集中。絵柄は金魚や蛸といった生き物のほか、波や花など自然を表現したものが多い。松井さんは「省エネにもつながる扇子の良さを使って感じてほしい」と話す。

◆本格的な夏の到来を前に、伝統工芸品「江戸扇子」の製作が最盛期を迎えています。

【1】江戸扇子と京扇子について、記事で書かれている以外にどのような違いがあるのか、調べましょう。

【2】扇子は伝統芸能でどのように使われ、何を表現しているのか、調べましょう。

サイン

年 組 () 名前

◆子どもを授かった時に、自治体から配られる「母子健康手帳」。日本で生まれたこの手帳が、海外でも活用されています。

母子手帳 難民守り15年

日本・パレスチナ

パレスチナで日本発の母子健康手帳が導入されて15年を迎えた。今では、ほぼ全てのパレスチナ人の母親が持ち、「命のパスポート」として母子の健康を守っている。記念式典が6日、ハンユニスの日本健康センターで開かれ、母親たちは手帳を手に感謝の意を示した。(パレスチナ自治区ガザ南部ハンユニス 福島利之)



パレスチナ自治区ガザ南部ハンユニスで、日本発の母子手帳を掲げるパレスチナの女性たち(6日)＝福島利之撮影



(2023年6月12日 読売新聞夕刊より)

妊娠中の健診結果や生まれた子どもの成長を記す母子手帳。21年間、助産師として働くイタフ・アブーザラカさん(43)は、式典で「妊娠から、子どものワクチン接種まで必要な情報が網羅されている。母親には欠かせない」と手帳の意義を

強調した。母子手帳は1948年に日本で活用が始まり、母子の死亡低下に貢献してきた。パレスチナの保健師らが2005年に来日した際、その役目に感銘を受けたのが、導入のきっかけとなった。

08年に国際協力機構(JICA)の事業として、自治区ヨルダン川西岸とガザで本格的に配布が始まり、今では自治区に加え、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)が支援するシリアやレバノンなどの難民の母親計約20万人が毎

年、手帳を受け取っている。パレスチナ保健庁によると、乳児死亡率は05年の20・8%から、21年には9・6%に半減した。5歳と3歳の男児を持つ母親アラア・オスマンさん(29)は、妊娠時に血圧などを記録して体調を管理し、産後には子どもの体重やワクチン接種履歴を記し、成長の指針としてきた。オスマンさんは「私の友達」と手帳を胸に当てた。

ガザは、イスラム主義組織ハマスが07年に武力制圧して以来、「テロ対策」を名目にイスラエルに封鎖され、住民はガザから自由に出入れない。3歳から9歳まで3人の息子を手帳を手に育てるラナ・アメルさん(35)は「子どもたちが大人になる頃には、生活が今よりよくなれば」と願った。

この日は、ガザと日本をオンラインでつないだ母親同士の交流会も開かれ、日本の母親が「子育ては大変ですが、子どもは多くの幸せを与えてくれる」と話すと、ガザの母親たちはうなずいていた。

【1】母子手帳が「命のパスポート」と言われる理由について、説明しましょう。

【発展問題】日本では、母子手帳のほかに父親向けの手帳を配布している自治体も増えました。「母子手帳」や「父子手帳」には、実際にどのような情報が書かれているか、調べましょう。



年 組 () 名前

サイン



50-year-old nest reaches new heights

TOYOOKA, Hyogo -- Every year, a new brood of swallow chicks grow up in a massive 40-centimeter-high nest built at a temple in Toyooka, Hyogo Prefecture.

The nest first started being built at Bankyuji Temple around 1974. Every year since then, a pair of swallows have flown to a spherical light fixture hanging from the ceiling near an entrance and built their new nest on top of it.

"The birds come every year and they're so lovely," Sogen Yoshida, 80, former chief priest of the temple, said. "I feel like they're a part of my family."

◆兵庫県豊岡市の萬休寺で、天井からつり下がった照明器具の上に、ツバメが半世紀も巣を作り続けています。今年もヒナが育っています。 (2023年6月17日 THE JAPAN NEWSより)

【1】この巣の高さはどれぐらいか、英語で書きましょう。

【2】巣作りはいつ頃から始まったか、日本語で書きましょう。

【3】吉田宗玄さんはツバメたちのことをどのように思っているか、日本語で書きましょう。

nest: 巣、a new brood: 新しい仲間、swallow chick: ツバメのヒナ、grow up: 育つ、massive: 巨大な、temple: 寺、started being built around ~: ~ごろから構築し始めた、a spherical light fixture: 球状の照明器具、hanging from ~: ~からつり下がる、ceiling: 天井、former chief priest: 前住職

新型コロナは「5類」になって 何が変わった? 変わらない?

学校での
感染症対策

学校での
メンタルヘルス対策

参加無料・要申込

会場&オンライン



5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類になり、感染症対策は「個人の判断」になりました。今回のシンポジウムでは、これから感染症と社会がどう向き合っていくといいか、医療現場や職場での感染症対策だけでなく、学校保健やメンタルヘルスの視点からも迫ります。

日時

2023年 **7月26日** 水
18:00 - 20:00 (開場 17:30)

会場

・グランフロント大阪北館
タワーB 10階
Room B01・02
・オンライン配信

プログラム

開会挨拶 金田 安史 (大阪大学 統括理事)

▶ 第1部 講演会

「2類相当と5類はどう違う」

大竹 文雄 (大阪大学CiDER 副拠点長)

「医療現場・職場での感染症対策 これまでとこれから」

忽那 賢志 (大阪大学感染制御学 教授)

「学校での感染症対策 これまでとこれから」

友川 幸 (信州大学教育学部 准教授)

「ポストコロナに必要な職場・学校でのメンタルヘルス対策」

佐久間 篤 (東北大学精神神経学分野 助教)



友川 幸



佐久間 篤



正木 義久



大竹 文雄



忽那 賢志

▶ 第2部 パネルディスカッション | テーマ: どうする 新型コロナ「5類」

ファシリテーター: 大竹 文雄

パネラー: 忽那 賢志、友川 幸、佐久間 篤

正木 義久 (日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部長)

閉会挨拶 木下 タロウ (大阪大学CiDER 拠点長補佐)

申し込み方法 下記URL、QRコード、Emailのいずれかで参加登録をお願いします。

URL <https://forms.gle/u2tJaQkUcBRBCbKu5>

E-mail URL または QR コードでのお申し込みができない場合は、下記の3点を

info@cider.osaka-u.ac.jp までお知らせください。

①参加方法 (会場 or オンライン) ②氏名 ③Email アドレス

会場定員: 150名

オンライン: 1000名 (当日の視聴方法はご登録メールアドレスに別途ご案内をさせていただきます)

申し込み期限: 2023年7月24日(月)

お申し込みはこちら



大阪大学
CiDER (サイダー) とは

大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) は、人間の脅威である感染症の基礎研究・基盤研究を構築していくために、2021年4月に設置しました。

CiDERでは、感染症 (ヒト生体防御機構の解明等) の基礎研究とその成果の社会実装、社会・経済活動の維持に必要な信頼性の高い科学情報発信、パンデミックの際の医療崩壊防止に貢献する感染症医療人材育成という3つのアプローチから、それぞれの事業に取り組んでいます。

CiDER HPは
こちら▶



大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER)

TEL : 06-6879-4903 / MAIL : info@cider.osaka-u.ac.jp

URL : <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/>

主催: 大阪大学感染症総合教育研究拠点

共催: 大阪大学先端モタリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター

助成: 日本財団

後援: 一般財団法人アジア太平洋研究所, 大阪大学社会経済研究所



グランフロント大阪への
アクセスはこちら▶

問い合わせ